

2022年 7月 24日

# 主 日 礼 拝

司 会 ②白川 達男兄

奏 楽

祈 禱 ②石井 秀人兄

賛 美 聖歌588番 ~聖霊の主よ~

使徒信条

聖書朗読 使徒行伝8章4~12節

特別賛美 「丘に立てるあられずりの」小堀英郎兄

メッセージ 「主の喜びが満ちあふれる」

石井 潤 牧師

献 金 聖歌577番 ~イエス愛します/感謝の心~

祝 禱

お知らせ [司会者]

賛 美 ~イエス様は私たちの道~

☆礼拝にお越しくださった皆様を心よりご歓迎いたします!☆  
《今週のお知らせ》

- ★本日も礼拝の恵みを感謝致します。今週も主の守りと助けをお祈り致します!
- ☆今週の祈り会：○早天祈禱会：明朝6時～。◎祈禱会：木曜午前10時半～、  
ポーマン・ルリ子先生。◎夜7時半（大和祈禱会）○準備祈禱会：土曜夜8時～。
- ★来週の日曜礼拝も4回行います。〈司会：白川 達男兄/祈り：石井 秀人兄〉

## ☆一年に一回聖書を完読できる! Bible Reading Plan [7/24-/31]

Date	日	月	火	水	木	金	土	日
旧約	ヨブ 15-18	19-21	22-26	27-30	31-33	34-36	37-39	40-42
新約	使徒 23:12-35	24	25:1-12	:13-27	26:1-18	:19-32	27:1-26	:27-44
チェック	○○○○○	○○○○	○○○○○ ○○	○○○○○	○○○○	○○○○	○○○○	○○○○

## 「主の喜びが満ちあふれる」

～現在の教会に聖霊が降り注がれるように！～

「群衆はピリポの話を聞き、その行っていたしるしを見て、こぞって彼の語ることに耳を傾けた。汚れた霊につかれた多くの人々からは、その霊が大声でわめきながら出て行くし、また、多くの中風をわずらっている者や、足のきかない者がいやされたからである。それで、この町では人々が、大変なよろこびかたであった。」使徒行伝8章6～8節

1980年代、アルゼンチンで大きなリバイバルが起り始めた。それは、一人の人物、カルロス・アナコンディア氏に特別な神様の賜物を注がれたからでした。しかし、彼だけでなく、その時代方々で、アルゼンチンだけでなく、南米、北米、アジア、アフリカと世界中に飛び火して大きな働きが90年代にかけて、その時代を導いた器たちを通して力ある主の働きが進められました。現在は、その器たちも高齢になったり、天に召されたりして、次の世代へと移り変わってきている。しかし、世代が代わったからといって、聖霊様の働きは人から人へと継承されるとは限らない。ただ、飢え渴いて、主を求める事だけが、聖霊様に導かれる唯一の道であると感じています。「そこでわたしはあなたがたに言う。求めよ、そうすれば、与えられるであろう。…すべて求める者は得、捜す者は見だし、門をたたく者はあけてもらえるからである。…天の父はなおさら、求めて来る者に聖霊を下さらないことがあろうか」(ルカ11:9-13)

しかし、求めるという、飢え渴くというエネルギー、力も主から与えられるものであると感じます。必死に、切実に求める思いはあっても、それが具体的な力となって現れるようになるには、主の油注ぎが必要であると思います。私自身もその力が足りない者であると感じています。共に祈る時に力が現されます。薪は一本一本では力が少なく、すぐに消えてしましますが、共に集まり、祈り続けるならば主の奇跡がなされると信じます。先日の大和での在原先生のメッセージの中でも語られましたが、在原先生の母教会の御殿場の教会を開拓した宣教師の先生が、毎日祈禱会を始めましたが、しばらく継続しましたが、途中で力尽きてきました。しかし、それでもしつこくやり続けました。聖歌を歌い、聖書を朗読し、祈るだけの時間でしたが、ある時、突然に聖霊が臨まれ、大いなる主のご臨在が現れ、御業がなされ始めたということです。その中で在原先生や今の主任牧師の中見先生たち当時の青年たちが次々に献身していったということでした。

主の注ぎには時があることも事実です。神様がご計画しデザインしたタイミングというものがあることも事実です。しかし、切なる求めがあって初めて主のタイミングは開かれます。空の器が備えられなければなりません。そこに、主の油注ぎがなされます。それは聖霊の傾注です。主の主権が天から降り注いで、現在の主の教会に満ちあふれますように祈り続けましょう！